

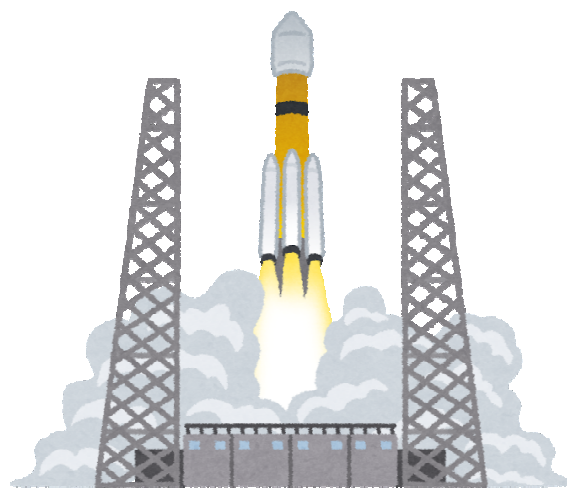
「失敗とは」というお話

10/12にイプシロンロケットの6号機が打ち上げられましたが、2段目の<sup>ねんしょう</sup>燃焼終了後にロケットの<sup>しせい</sup>姿勢が予定とのずれを生じ、3段目の点火前に指令破壊される（ロケットに取り付けられた爆薬に点火し、ロケットがそれ以上飛ばないように破壊する指令を送った）という結果になりました。

ニュースや新聞では「打ち上げ失敗」と報道されていました。今回は、この「失敗」という言葉について考えたことをつぶやいてみようと思います。

「失敗」という言葉の意味を<sup>じしょ</sup>辞書で引くと、「物事をやりそこなうこと」「良い結果が得られないこと」などとなっています。

今回の打ち上げについては、イプシロンロケットでは初の、そして日本のロケットでは19年ぶりの指令破壊ということもあり、大失敗であるような報道もありました。



ロケットの打ち上げのイメージ  
(HII Bっぽいですが)

打ち上げ途中での破壊により、<sup>とうさい</sup>搭載されていた<sup>えい</sup>衛星を予定の軌道に投入することには失敗しました。ロケットの目的が衛星を運ぶことだけであれば、その目的は一切達成されなかったわけで、たしかに大失敗と言えるかもしれません。

しかし、今回のロケットは、ロケット本体にも様々な新技術が使われていて、

それらの<sup>けんしょう</sup>検証、<sup>じっしょう</sup>実証も打ち上げの目的の一つでした。こちらについては、飛行していた間におけるデータは残っていて、これから先の原因究明でもさらに多くのことが判明するでしょう。

その意味で、技術についてのデータの取得という目的については、現時点で成功ではないまでも、失敗ではないのではないかとあん Do は思います。

さて、同じことが生徒の皆さんのテストについても言えるのではないのでしょうか。

毎回の復習テストで「帰ったら怒られる」となげいている生徒さん、いますよね。でも、テストの点数だけを見て「成功」「失敗」という判断をするのは、テストの目的から考えるともったいないのでは、ということです。

皆さんの多くは「中学受験のため」または「中学からの勉強に備えるため」にティープロで学んでいます。そう考えると、一回一回の復習テストは「習ったことが身についているかどうかを確認」し、身につけていなかったのであれば「もう一度身につけるための努力をする」ためのものということになりますよね。あるいは、「テストで上手に点を取る方法を身につける」ためのものでもあるかもしれません。

だとしたら、点数が「良かった」「悪かった」ということに喜んだり悲しんだりするのではなく、「どこが悪かったのか」「どうすれば次はもっと良くなるのか」ということを考える材料にするのが上手なテストの使い方、ということになります。

あん Do も「100 点とって当たり前」とか「100 点とれないとダメ」という言い方をすることはありますが、それは怒っているわけではなく、「100 点取るためにどうすれば良いのかよく考えて、次は 100 点をとってね」という意味なので、泣かないでくださいね。



もちろんテストによっては「今回は 90 点取れていれば OK」ということもあると思います。どちらにしても、目の前のテストだけを見るのではなく、もっと先の目標のために 1 つ 1 つの小さな失敗を次の成功につなげる努力をしてももらえるとうれしいです。もし「どうしたら良いかわからない」というときは、あん Do はじめ、ティープロの先生たちにいつでも相談してください。

また、ロケットの打ち上げのように「成功し続けているように見えるもの」でも成功し続けるには大変な努力をしているんだ、ということを知って欲しいと思います。みなさんが 100 点を取り続けるのと同じことですからね。

今回はちょっと硬くなっちゃいましたが、ロケットのニュースを見て「100 点じゃなかったら失敗なのか」などと考えてしまったあん Do なのです。

22/10/16 あん Do

JAXA によるイプシロン 6 号機の打ち上げ中継（打ち上げそのものは 35 分過ぎぐらいから）

<https://www.youtube.com/watch?v=C4pCeeCy-0>